

石州瓦バリエーション

カタチも、カラーも、ますます多彩に！



和瓦 J形

和のテイストを活かし豊富な色の組み合わせにより表情を変える、日本伝統スタイル。

施工事例

和瓦(J形)を選ばれたお客様の声

どっしりとした風格と圧倒的な性能、日本瓦の最高品に大変満足しています。

定期的な塗り替えやメンテナンスでの支出が不要。これは大きなポイント。毎月の住宅ローンの支払を考えるとベストな選択でした。

瓦本来の性能を維持しながらこのカタチ。機能美重視の我が家のコンセプトにぴったりハマりました。

カラーバリエーション

- 黒系
- 銀系
- 赤系
- いぶし銀系
- 来待(きまち)系

洋瓦 S形

Sの曲線が地中海地方のリゾート建築をイメージさせる石州のS形瓦

施工事例

洋瓦(S形)を選ばれたお客様の声

和風住宅に興味のなかった私にとって瓦にこんなデザインがあるって新鮮な喜びでした。

優しい曲線のヨーロピアンテイストで、切り妻屋根の我が家にベストマッチです。

その日の天気や見る角度で微妙に変わる色合い、焼き物ならではの特徴ですね、気に入っています。

カラーバリエーション

- 銀黒系
- ブラック系
- ブラウン系
- いぶし銀系
- グリーン系

洋瓦 F形

西洋建築の伝統のフラットでモダンな印象の石州のF形瓦

施工事例

洋瓦(F形)を選ばれたお客様の声

シンプルで厚みがあって、フラットな四角いカタチ、こんな瓦もあったんですね。我が家との出会いに感謝!

創造力が広がるカラーが豊富にあって色決めが大変でした。迷ったあげくマッドブラックに決定!家族にも好評でした。

太陽光パネルを同時に施行しましたが、ソーラーパネルが瓦にうめこまれたような一体感、これはいいですね。

カラーバリエーション

- 銀黒系
- ブラック系
- ブラウン系
- いぶし銀系
- グリーン系

和瓦・洋瓦ともに、上記以外のカラーも多数取り揃えています。詳しくはお問い合わせください。

石州瓦まめ知識

石州瓦の故郷は島根県西部石見地方、そこは赤瓦の風景。

伝統的な石州瓦の色は「来待色(きまちいろ)」と呼ばれる赤茶色をしています。これは1,200度以上の高温で焼かれた瓦だけが持つ色、つまり最高級の瓦である証の色なのです。島根県石見地方に多く見られる赤瓦の風景は、まさに最高品質の瓦がぜいたくに使われた伝統的な街並なのです。



石州瓦工業組合

暮らしを守る、住まいを守る、しまねの銘品「石州瓦」

Y U N E

やねノート

かしこい私は、石州瓦。

丈夫で、美しく、経済的

石州瓦って

スゴイ!

日本の風土にベストな屋根材として注目を集め続ける石州瓦。その魅力を探ってみましょう。

SEKISYU KAWARA

かわらぬ 安らぎを 守る

Y U N E やねノート

名品は永遠
石州瓦工業組合

〒695-0016 島根県江津市嘉久志町イ405
TEL 0855-52-5605 FAX 0855-52-0766

屋根の学校 検索

<http://www.sekisyu-kawara.jp/>



石州100年瓦のヒミツ!

せき かわら しゅう 石州瓦ってスゴい!

圧倒的な高品質

石州瓦は、100年瓦!

粘土という自然の素材を相手に先人達が試行錯誤を繰り返して、究極の屋根材として磨き上げられた石州瓦。真夏の強い日差しや風雨に耐え、塩害にさらされる環境下でも色褪せることなく、ひたすら住まいと暮らしを守り続ける。「100年瓦」と語り継がれる由縁がそこにあります。

100 years



鳥根県西部(石見地方)で作られる「石州瓦」。

国内最高品質と称される秘密は、この地方で採取される良質な粘土。

他に類を見ない1,200度以上という超高温での焼成を可能にし、

強靱さと美しさを両立、近年は日本のみならず

ロシアなどの海外にも広く輸出されています。



色、カタチ、いろいろ選べる多彩なラインナップ!

瓦屋根=和風じゃないの!?

石州瓦は、伝統的な和形だけではなく、西洋風のすっきりとした葺き上がりのフラットなF形、リゾート建築をイメージさせるS形、さらにオーソドックスな和形、ソーラーパネル対応型など住まいのデザインに合わせ、色もカタチも豊富にラインアップ! 瓦の生産のノウハウを生かした壁・床タイルなどの新商品も好評を頂いています。

和形

洋形

洋形



比較シミュレーションで一目瞭然

その差圧倒的! 石州瓦は、経済的な屋根材です!

化粧スレートや金属系の屋根材と比べ、耐久性に優れた石州瓦は、塗り替え等のメンテナンス費がほとんどかかりません。例えば金属や化粧スレート等の屋根材は約10年ごとに塗り替えが必要ですが、石州瓦はメンテナンスフリー。性能の劣化や退色等もほとんどありません。30年、40年の長期にわたるコストを比較すると石州瓦は、実に経済的な屋根材であると言えます。

石州瓦はメンテナンスフリー。20年後では、瓦屋根が断然お得です。

屋根材の耐用年数

カラー鉄板(瓦葺き)	15年
ガルバリウム鋼板葺き	30年
カラーベスト葺き(薄型スレート)	30年

粘土瓦葺き 60年

CASBEE(建築物環境性能評価)HPより



その差 51万円*

※金額・年数はあくまでも目安です。
※全国陶器瓦工業組合連合会・一般社団法人全日本瓦工事業連盟作成による「瓦屋根・金属屋根のランニングコスト比較資料」に基づき、石州瓦工業組合が試算したものです。

※J形軸業瓦使用、屋根面積100㎡の場合

安心設計の実力[その①]

台風の強風には?

石州防災瓦は、屋根にしっかり固定され、瓦同士がお互いにしっかりと噛み合うように設計されています。風速42メートルの台風にも耐える安心設計です。



瓦どうしがガッチリかみあう構造



安心設計の実力[その②]

瓦は重い、地震に弱い!?

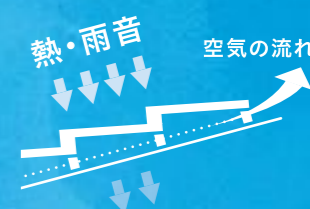
地震で住宅が倒れてしまう主な原因は瓦の重量ではなく、住宅の構造や強度不足が原因です。現代の住宅は、法律で定められた強度計算に基づいて設計されているので、M8の大地震にも耐えることが確認されています。



安心設計の実力[その③]

夏涼しく、冬暖かいです!?

粘土瓦は、素材そのものの断熱性が高いうえ、施工方法とも相まって、金属や化粧スレートなどの屋根材に比べ、小屋裏の温度を7~8℃も低くします。また瓦は素材そのものが音を伝えにくく(空気音の透過損失28.0dB)遮音性にも優れています。



結論!!

選んで納得。4つのイイ事

以上のように石州瓦は和洋さまざまな住宅にマッチするデザインバリエーションと高い経済性を備え、熱さ・寒さ・騒音を効果的に防ぐとともに、自然素材で作られるため、人にも、環境にも優しいとてもエコな屋根材なのです。

豊富なデザインバリエーション

メンテナンスフリーによる高い経済性

経年劣化に強い

断熱、防音効果